

「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」中間評価について

計画期間：平成30年度から令和5年度

計画の趣旨と中間評価（令和2年度）

保健事業の実施等に関する指針に基づき、被保険者の健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図ることを目的に、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った保健事業を実施するため「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定しています。

令和2年度は中間評価年度であり、国保連合会保健事業支援・評価委員会の事業を活用し評価を行いました。

石巻市の健康課題（計画策定時との比較）

- 虚血性心疾患の死亡率（対人口10万人比率）が国、県より高い。
H29：市 **244.4ポイント**、国 163.8ポイント（H27：市 193.0ポイント、国 156.5ポイント）
- 40歳～64歳の要支援・要介護者認定者のうち、生活習慣病が重症化した脳血管疾患、腎不全、虚血性心疾患などが原因で介護となった方が半数を占める。
- 認知症が原因で要支援・要介護となった方が増加 H25：5.3% ⇒H28：16.0%
- 人工透析患者のうち糖尿病が占める割合が約6割。高血圧の割合も85%を超えている。
- 特定健診受診率はR元年度 **45.0%**（県内28位）と向上傾向だが、県平均48.9%には及ばない。
（H28：39.1%県内34位：ワースト2位）
- メタボ該当者の割合が県・国平均より高い。特に男性はR1：**37.4%**（H28:33.6%）。同規模自治体30.7%と比較して多い。

令和5年度までの目標と、令和2年度中間評価

＜中長期的目標＞ 虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症による**新規透析導入患者を減らす。**

	H29年度	R1年度（実績）	R5年度（目標）
虚血性心疾患の割合0.2%減少	4.1%	3.8%	3.9%
脳血管疾患の割合0.2%減少	3.2%	3.1%	3.0%
糖尿病性腎症による新規透析導入者の割合0.2%減少	0.5%	0.6%	0.3%

＜短期的目標＞ 虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の共通リスクとなる**高血圧、糖尿病、脂質異常症の治療者を増やす。**

	H29年度	R1年度（実績）	R5年度（目標）
高血圧治療者の割合	26.8%	26.7%	28.8%
糖尿病治療者の割合	12.8%	12.8%	15.8%
脂質異常症の割合	21.9%	21.9%	23.9%

※被保険者数に対する各疾患割合

●中長期目標である**新規透析導入者数は増加傾向であり、更なる生活習慣病の重症化予防の取組が必要である。**

石巻市の取組（今後に向けて）

- 特定健康診査の受診率向上
 - 特定健康診査未受診者への受診勧奨（再勧奨強化、健康ポイント事業の継続）
 - 市民への周知（健康課題や健診・保健指導の周知・啓発、医療機関、保健推進員等との連携、他健診データ受領）
 - 受診しやすい環境整備（自己負担無料化、休日・夜間健診、地区間相互受診）
- 特定保健指導実施率向上
 - 利用勧奨（勧奨通知、電話、訪問）
 - 家庭訪問や休日開庁日の保健指導の実施（委託団体との連携及び直営実施強化）
- ハイリスク者の保健指導（糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患、慢性腎不全（CKD）の重症化予防）
 - 医療機関との連携による効果的な保健指導の実施 **【新規透析導入者の抑制への取組強化】**
⇒医療機関と地域保健の連携システム事業等による、かかりつけ医や腎専門医との連携
 - 生活習慣病のリスク因子や対象者に応じた保健指導の実施 **【保健指導後の受療率や検査結果変化を評価】**
⇒レセプト分析による医療中断者への健診・医療受診勧奨等の実施

